

サッカーの第100回
 全国高校選手権徳島県大会
 第4日は30日、徳島市
 球技場で準々決勝4試合

全国高校サッカー
 徳島大会
 第4日

徳島市立
 徳島商

4強

徳島科技
 徳島北



生光学園対徳島科技 延長前半2分、徳島科技のDF古川⑯が
 こぼれ球を押し込んで決勝ゴールを挙げる＝徳島市球技場

が行われた。第1シード
 の徳島市立、第2シード
 の徳島商が快勝し、第4
 シードの徳島科技は延長
 戦の末に生光学園を1-0
 で下した。徳島北は3
 大会第5日は11月6日

に同球技場で徳島市立
 徳島科技、徳島北・徳島
 商の準決勝が行われる。
 準決勝以降は上限100
 0人で観客を受け入れる
 有料ゲーム(準決勝)中
 学生以下1000円、高校
 生以上3000円、決勝
 中学生以下3000円、高
 校生以上5000円)とな
 る。県サッカー協会のホ

延長前半2分、MF野
 崎の左サイドからのア
 リークロスに反応したの
 が後半半ばから出場した
 DF古川だった。「そこ
 に来る気がした」とゴー
 ルへの嗅覚を発揮し、逆
 サイドから攻め上がった
 こぼれ球を右足で押し込
 んだ。後半以降は敵陣に
 押し込み、ゴールだけが
 足りなかった徳島科技に
 勝利をもたらした1年生
 は「一めっちゃうれしい」
 と無邪気に喜んだ。

泥くさく勝ち切る

徳島
 科技

「前半10分までは前に
 蹴ってもOK」と試合に
 入ったが、一発勝負の硬
 さもあってか、その後も
 慌てて蹴るシーンが目立
 った。生光学園の出足の
 良さも相まって、ラスト
 パスの精度は本来のもの
 める。(伊藤典文)

ではなかった。0-0の
 まま延長戦へ。「ここ
 負けたら終わりだぞ。最
 後まで走り切れ」。川越
 監督の言葉に奮い立ち、
 運動量を落とさず、泥く
 さく戦って勝ち切った。
 昨年は準決勝で徳島市
 立に敗退。1月の県新人
 大会を制したものの、6
 月の県総体は準決勝で敗
 れ、全国切符の懸かる大
 会をものにできていな
 い。何とか競り勝って駒
 を進めたチームを束ねる
 森主将は徳島市立との準
 決勝に向け、「戦いはこ
 こから。もう少し状況判
 断良くプレーし、自分た
 ちを信じて走り切る」。

チームページからダウロ
 ードできる健康チェック
 シートの提出が求めら
 れ、入り口の検温で37.
 5度以上の場合に入場で
 きない。
 ▼準々決勝
 徳島市立6(2-0)1小松島
 (4-1)1
 ▼得点者(市) 桐、藤、佐
 藤、井口2(小) 藤田

総体では小松島に先制さ
 れたので立ち上がりは手
 堅く守る中、セットプレ
 ー2発で流れを引き寄せ
 ることができた。次はも
 つと運動した動きを見せ
 たい」



徳島市立・川上楓雅主
 将(4連
 覇に向け
 て順調に
 滑り出
 し)「県



徳島北・三原快嗣主将
 (4年ぶ
 りの頂点
 にまた一
 歩近づ
 き)「試

合にうまく入ることがで
 きて前半に2点取れた。
 後半序盤の失点は少し隙
 があった。ポゼッション
 を大切にしながら状況に
 応じたプレーを大切にし
 たい」
 徳島北・三原快嗣主将
 (4年ぶ
 りの頂点
 にまた一
 歩近づ
 き)「試
 合にうまく入ることがで
 きて前半に2点取れた。
 後半序盤の失点は少し隙
 があった。ポゼッション
 を大切にしながら状況に
 応じたプレーを大切にし
 たい」
 徳島市立6(2-0)1小松島
 (4-1)1
 ▼得点者(市) 桐、藤、佐
 藤、井口2(小) 藤田
 徳島北3(2-0)1
 ▼得点者(北) 川村、尾崎、唇
 (過) 森本
 徳島科技1延長0生光学園
 0000
 徳島商3(3-0)0鳴門
 ▼得点者(商) 河野、守高、高
 橋